

# 令和4年度「世界史B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通・理数・美術	地歴	世界史B	4	選択
教科書	『詳説世界史B改訂版』山川出版社				
副教材	『グローバルワイド最新世界史図表四訂版』第一学習社 『詳説世界史整理ノート改訂版』山川出版社 『世界史B用語集』山川出版社				

学習の目的
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会事象の歴史的な見方・考え方を身につける。</li> <li>2 世界の歴史的な事象を学んで、グローバル化に対応する広い視野を身につける。</li> <li>3 よりよい社会の実現のために、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ol>

学習の目標						
<table border="1"> <tr> <td><b>I</b> 知識・技能</td> <td>基本的歴史事項を理解する。</td> </tr> <tr> <td><b>C</b> 思考・判断・表現</td> <td>歴史事項の時間的・空間的なつながりに気づき、その気づきをもとに課題を発見する。</td> </tr> <tr> <td><b>E</b> 学びに向かう力・人間性等</td> <td>歴史事象から課題を、現代と結びつけて考察し、現代社会に対する理解を深める。</td> </tr> </table>	<b>I</b> 知識・技能	基本的歴史事項を理解する。	<b>C</b> 思考・判断・表現	歴史事項の時間的・空間的なつながりに気づき、その気づきをもとに課題を発見する。	<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	歴史事象から課題を、現代と結びつけて考察し、現代社会に対する理解を深める。
<b>I</b> 知識・技能	基本的歴史事項を理解する。					
<b>C</b> 思考・判断・表現	歴史事項の時間的・空間的なつながりに気づき、その気づきをもとに課題を発見する。					
<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	歴史事象から課題を、現代と結びつけて考察し、現代社会に対する理解を深める。					

つきたい力	個々の歴史事象の関係性に気づき、歴史事象の中から課題を発見・考察し、自らの課題意識を行動に移す力。
-------	---

評価方法	I	C	E
◇ 定期考査。	○	○	○
◇ 課題の取組状況。	○	○	○
◇ 話し合い活動と発表。		○	○
◇ 整理ノートなどの提出。	○	○	

履修上の注意および学習のアドバイス等
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 進度が速いので、毎日の復習に力を入れて学習する。</li> <li>◇ 教科書と図説を使って、歴史事項の縦と横のつながりを意識した学習をする。</li> <li>◇ 海外のニュースに関心を持ち、世界史との関連を考えるようにする。</li> </ul>

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	関心 意欲 態度	思考 判断	知識 理解	技能 表現
第1学期	4	第1章 オリент地中海世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界 第4章 イスラーム世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	世界の各大陸の諸地域における文明の形成過程を理解し、現代社会の源泉となった各文明について理解する。 各文明が、相互に交流し経済的・文化的に相互に影響を与えあっていたことを理解する。 諸地域文明の発展と交流の深化を通じて、16世紀以降の西欧諸国による世界の一体化の前段階が、ユーラシア・アフリカ大陸において準備されていた過程を理解する。		○多民族が共生する国家とはどのようなものか ○多くの民族が興亡していく中で、民族固有の文化は固定的なものになるのか	○	○	○	○
	5				○民主主義社会における市民の生き方とはどのようなものか ○ユーラシア大陸の古代文明は、日本に何をもたらしたか	○	○	○	○
	6				○信者の生活を大きく規制するイスラームが、なぜ急速に広まったのか	○	○	○	○
	7			期末考查	○ヨーロッパでは、なぜ「教皇」や「皇帝」などの民族の枠を超えた権威が必要だったのか	○	○	○	○
第2学期	9	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第6章 内陸世界・東アジア世界の展開 第7章 アジア諸地域の繁栄 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	14世紀～18世紀、西欧諸国の世界進出が本格化する時期のアジア各地には、それまでの諸地域の歴史・文化を集大成するような王朝が繁栄していたことを理解する。 帝国主義段階に入った欧米諸国が、現地人の抵抗を抑えながらアジア・アフリカ・太平洋の再分割を進めるとともに、日本がその秩序に挑み始め、第一次世界大戦に至る国際情勢が形成されたことを理解する。 欧米を中心として一体化が進んでいった現代社会が、二度の世界大戦を通して国際関係を大きく変えていったことを理解する。 戦後は、冷戦とこれに対抗するために独立したアジア・アフリカ諸国が第三勢力を形成し、国際社会が動いていったことを理解する。 冷戦構造の崩壊と共に、環境問題・地域紛争・富の偏在と格差問題など、全人類が取り組まなければならない課題が表面化してきたことを理解する。		○多数派の民族が少数派の民族の支配をなぜ受け入れるのか ○西欧の大航海時代が、どのようにアジアに繁栄をもたらしたのか	○	○	○	○
	10	第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界		中間考查	○欧米による植民地化がなければ、アジアやアフリカはどんな発展をしたと考えられるか ○植民地の人々の抵抗は、なぜ欧米諸国に抑え込まれたのか	○	○	○	○
	11				○なぜ国際連盟は、第二次世界大戦を防げなかったのか ○ドイツ人はなぜヒトラーの支配を受け入れたのか	○	○	○	○
	12			期末考查	○第二次世界大戦後、なぜ社会主義国が数多く誕生したのか ○なぜ冷戦後も多くの地域紛争が発生したのか	○	○	○	○
第3学期	1								
	2								
	3								

※行事等で変更になる場合があります。